

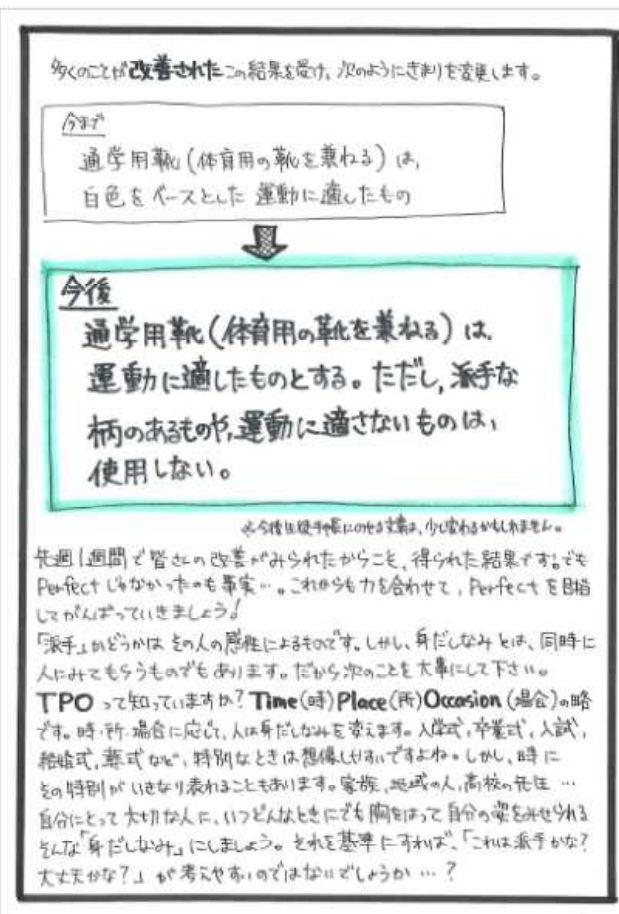
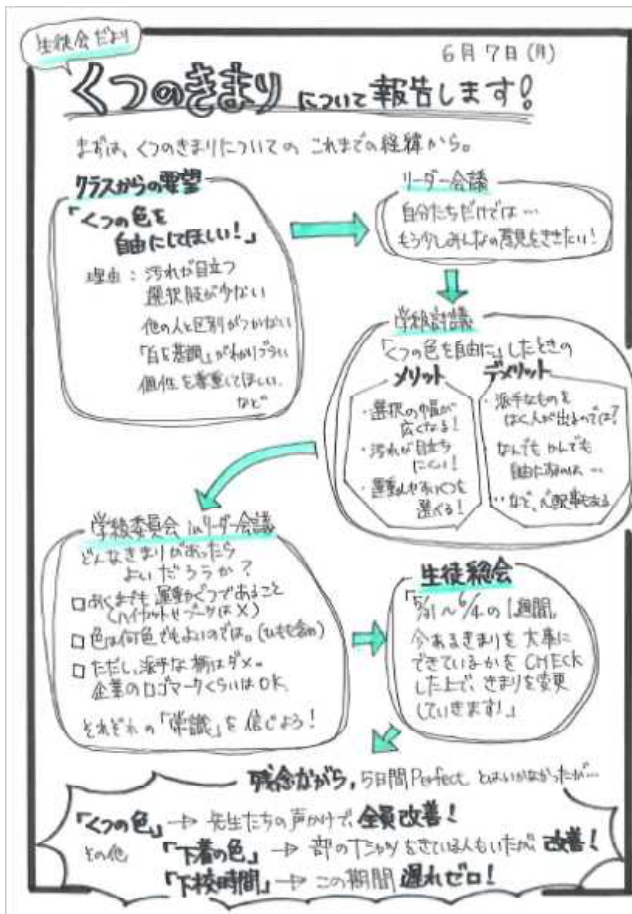


さくらネット

令和3年(2021年)6月24日

生徒の力で変わる・変える!

靴についての規定が変わりました～「生徒会だより」より～



クラスからの要望を受け、リーダー会議や生徒総会での協議を経て取組を進めていた靴の自由化が実現しました。規定は6月7日に変更され、通学用靴は「白をベースとした運動に適したもの」から「運動に適したもの」「派手な柄のあるものは使用しない」に変更となりました。お互いが気持ちよく過ごすために定められている校則は、それが本当に必要なものなのかどうかを、常に見直していくことが大切です。意義や目的を自分たちで考え、よりよくするための挑戦を続ける生徒の活動を今後も応援したいと思います。

一人一台PC(Chromebook)の活用



「子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現を目指した施策」であるGIGAスクール構想により配備された、一人一台の端末（Chromebook：クロムブック）の活用が始まりました。

本校では、まずは学活で、基本的操作や利用にあたってのルール等を確認しました。保管庫からの端末の移動や文字の入力にかなりの時間がかかるのではないかと危惧していましたが、生徒たちは順調に作業を進め、予定していた時間内に余裕をもって活動を終えることができました。

その後は、各教科等の授業で活用の場を広げているところです。

これからの社会を生きる子どもたちにとって、パソコンは必須の道具であり、一人一台のパソコン環境は、令和時代のスタンダードです。個性や特徴、興味関心や学習の到達度が異なる一人一人の子どもたちが、これからの社会の中で幸せや豊かさを追求していくためには、主体的に学ぼうとする意識をもってパソコンを活用することが大切です。そのためにはどのような学習が必要なのか、教員も研修を重ねています。



「主体的な学び」と「学びノート」

パソコンのように便利な道具を使ってよりよく学ぶためには「主体的な学び」が求められます。各教科における観点別学習状況の評価の観点も、本年度から「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されています。では、「主体的に学習に取り組む態度」とはどういうことでしょうか。

授業や家庭学習において、「何を学ぼうとしたのか」「どのような気づきがあったのか」「わかったことは何か」「わからないことは何か」等を自ら振り返ること。振り返りをもとに「自分は何を学びたいのか」「どのような力を身に付けたいのか」と目標を定めること。達成のために「何をどのように勉強すればよいのか」を自分で考え、粘り強く取り組むこと。このような学び方が、「主体的に取り組む態度」です。

本年度は、自分の目標や学習の状況に合わせて自分に必要な勉強をするノートとして、「学びノート」を使った学習に全校で取り組んでいます。「学びノート」を活用して、一人一人の「主体的な学び方」を見つけてほしいと思います。